

授業科目	* 地域福祉と包括的支援体制 I				単位	2		
履 修	必修	関連資格	社会福祉士 精神保健福祉士 保育士		ナンバリング	WE21211J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2			
担当教員	梶原 浩介							
授業概要	<p>地域福祉は、児童福祉や高齢者福祉などの対象者別の福祉分野に並置されるものではなく、社会福祉そのものの新しい形態や方法を意味している。本科目を通して、新しい福祉のあり方として地域福祉を捉える視点を学ぶとともに、地域福祉の主体や地域福祉の推進のための制度・仕組みについて理解を深める。</p> <p>本科目は、前期・後期に分けて講義を実施する。前期では、地域福祉の基礎概念や、民生委員、社会福祉協議会、共同募金等の地域福祉を推進する主体について学ぶ。後期では、前期の学びを踏まえ、地域福祉を推進するためのソーシャルワークを中心に学ぶ。</p> <p>従来から、社会福祉協議会等の基本的な実践技術であるコミュニティワークに加え、近年、社会的つながりの弱い人々や制度の狭間、複合課題などへの対応として重視されるようになったコミュニティソーシャルワーク(地域を基盤としたソーシャルワーク)についても学びを深める。</p> <p>※ 本科目は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況によっては、本学の教育方針に則り、遠隔授業にて実施する場合があります。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域福祉の基本的な考え方、地域福祉の主体と対象を理解する。 2. 地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。 3. 住民参加の意義と方法について理解する。 4. ネットワーキングの意義と方法及びその実際、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法と実際について理解する。 5. 福祉サービスの評価方法について理解する。 6. コミュニティワークの意義や方法等について理解する。 7. コミュニティソーシャルワークについての知識や技術等について理解する。 8. 地域福祉の課題とこれからの地域福祉のあり方について理解する。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	72	0	20	3	0	5	100	
知識・理解 (DP1-1)	10		5				15	
知識・理解 (DP1-2)	13		5				18	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10						10	
思考・判断 (DP2-2)	10		5				15	
関心・意欲 (DP3-1)	20						20	
関心・意欲 (DP3-2)	5		5				10	
態度(DP4-1)						5	5	
態度(DP4-2)				3			3	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)	4						4	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

1. 地域福祉の諸課題について多角的に捉えることができ問題を指摘することができる。 2. 地域福祉に関する学説、理論、政策などについての説明ができる。		1. 地域福祉の諸課題についてを認識でき説明することができる。 2. ネットワーキングをする際に必要となる機関、団体、人について説明することができる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション	講義	指示した箇所の復習	30
2	地域社会の現状と地域福祉	講義	指示した箇所の予習・復習	30
3	民生委員・児童委員の役割と実際	講義	指示した箇所の予習・復習	30
4	社会福祉協議会の役割と実際(1) - 社会福祉協議会とは -	講義	指示した箇所の予習・復習	30
5	社会福祉協議会の役割と実際(2) - 地域福祉推進部門の事業・活動1 -	講義	指示した箇所の予習・復習	30
6	社会福祉協議会の役割と実際(3) - 地域福祉推進部門の事業・活動2 -	講義	指示した箇所の予習・復習	30
7	社会福祉協議会の役割と実際(4) - 福祉サービス利用支援部門の事業・活動 -	講義	指示した箇所の予習・復習	30
8	社会福祉協議会の役割と実際(5) - 社協の「これまで」と「これから」 -	講義	指示した箇所の予習・復習	30
9	地域福祉の財源 - 共同募金の役割と実際 -	講義	指示した箇所の予習・復習	30
10	コミュニティワーク(1) - 地域福祉の理論的展開とコミュニティワーク -	講義	指示した箇所の予習・復習	30
11	コミュニティワーク(2) - コミュニティワークのプロセスと方法 -	講義	指示した箇所の予習・復習	30
12	コミュニティワーク(3) - コミュニティワークの実践事例1 -	講義	指示した箇所の予習・復習	30
13	コミュニティワーク(4) - コミュニティワークの実践事例2 -	講義	指示した箇所の予習・復習	30
14	・コミュニティワーク(5) - コミュニティワークの実践事例3 -	講義	指示した箇所の予習・復習	30
15	・地域福祉の課題とこれからの地域福祉のあり方 ・授業のまとめを行う。	講義	指示した箇所の予習・復習	30
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	地域福祉領域の情報(自分たちが生活する地域の問題や行政計画など)について関心を持ち、わからないことがあったら調べるなどの積極的な姿勢が必要です。			
テキスト	川村 匡由 編著『入門地域福祉と包括的支援体制』ミネルヴァ書房出版			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考文献、資料などは講義の際に適宜、情報提供する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	より理解を深めていくために、事前にテキストの一読やレジュメ資料による振り返り、授業中に紹介する参考図書などを一読してください。 地域福祉領域(地域の問題、行政計画等)の情報に興味関心をもってアクセスし、理解を深めてください。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	試験(コロナウイルス感染状況によっては、拡大防止の観点により、遠隔によるレポート作成によって評価することもあります。必要時には、授業内にて別途説明します。)、レポート、積極性にて評価します。その他の評価に関しては、発表やノート、授業態度などを総合的に評価いたします。			

